

地域公共政策プログラム

岡山大学大学院

社会文化科学研究科

毎日の仕事でこんなことを考えていませんか？

- ・町の商店街は、寂れるばかり！ なんとかならないだろうか？
- ・地方財政は厳しいと言うけど、本当にそうなんだろうか？ そうだとすると、どうしてそうなってしまったのだろうか？
なんとかできないか。
- ・合併したけど、我が町はそれで良かったのかなぁ
- ・環境に優しい都市ってどんな都市？ 自分の住んでいる町はどうなんだろう。個人の努力と自治体の対策はどうなっているの？
- ・ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを調べてみたいけど、どうやったらいいの？
- ・農工商連携や地域ブランドって、地域活性化にどれくらい貢献しているのだろうか？

そんな疑問を研究テーマとして考えてみませんか？

毎日の仕事でこんなことを考えていませんか？

- ・最近、住民税が高い気がするけど、行政はそれに見合ったサービスをしているのだろうか？
- ・まちづくり条例って、どうやって作るの？
- ・道州制が必要といわれるけど、私たちの生活への影響はあるの？
- ・羽田空港のハブ化で、地方も活性化するはずって東京の人は知っているけど本当？ そもそもハブ化ってなに？
- ・地方自治のあり方や制度を勉強したいのだけど、どうやったらいいの？
- ・買い物難民は重要な問題、地域福祉の政策を考えてみたい。
- ・ゼロ金利政策っていわれているけど、地域の金融と私たちの生活の関係はどうなっているのだろうか？

そんな疑問を研究テーマとして考えてみませんか？

研究をするには、次の 3 つが必要です。

- ①問題意識
- ②分析の道具
- ③時間

- ①具体的に何を解決したいかという問題意識が必要です。それに至った動機や体験でも十分。漠然とどうしたいかという落としどころがあれば、もっと良いでしょう。そして、それに至るプロセスを考えましょう。
- ②現地調査やアンケートをしてみたいけど、どうやってそれを分析するの？費用対効果に問題とか波及効果が高いか新聞にあるけど、どうやって計算しているの？具体的な政策を作り上げる法務の作業はどうするの？大丈夫です。それを習得するカリキュラムが**地域公共政策プログラム**にあります。
- ③昼間は仕事があるけど。大丈夫です。開講時間の基本は、午後 6 時から 9 時 10 分までの夜間授業、土曜日もやっています。

こんなこともやっています

院生と教員のワークショップ

大学院生の研究報告を中心に、院生全員と関係教員の参加で、議論を尽くします。これを何回か経験することで、研究テーマが研究論文となっていきます。

皆さんの参加をお待ちしています

- ①議員の皆さん、日々の地域の課題を地域公共政策プログラムで問題解決を探りませんか？ そして、研究成果を議会で提案してみましよう。
- ②自治体職員の皆さん、仕事で感じている問題意識を地域公共政策プログラムで理論をつけ、実証をし、政策へ活かしてみませんか。
- ③まちで活動する皆さん、経済学や法学から地域公共政策の基礎的な理論を学んで、実践の理論武装をしましよう。